

# 日本臨床麻酔学会 2025 年 IARS Kosaka 最優秀賞

Kosaka Best of Meeting Abstract Awards Session

授与報告

Kosaka 最優秀賞とは

IARS (International Anesthesia Research Society) は、雑誌「Anesthesia & Analgesia」の母体となっている学会です。年次大会は毎年 3～5 月に開催され、全世界からおおよそ 1,000 人が集まることで知られています。日本臨床麻酔学会とは 1990 年より極めて緊密な関係を保っており、2006 年より日本臨床麻酔学会創設者のお一人である岡山大学麻酔・蘇生学講座の小坂二度見名誉教授の名前を冠した「Kosaka Award」を優れた一般演題の中から選考し贈呈することを行なっております。

## **Congratulations to the 2025 Kosaka Best of Meeting Award Winners!**

### **Kosaka Clinical Research Winner**

Peter Santer, MD, PhD, Beth Israel Deaconess Medical Center, Boston, MA  
“Mechanical Power in the Operating Room: Is Driving Pressure the Answer after all?”

### **Kosaka Basic Science Winner**

Mitsukuni Yoshida, MD, PhD, Washington University in St. Louis School of Medicine, St. Louis, MO “NAD+ Augmentation and Senolytics as a Non-Opioid Analgesic for Treating Neuropathic Pain in Mice”

### **Kosaka Scholars Winner**

Nicholas Fong, BA, University of California San Francisco, San Francisco, CA, Washington University School of Medicine in St. Louis “Trends in Volatile Anesthetic Use and its Effect on Global Warming Potential: A Multicenter Observational Analysis between 2018 and 2023”

写真 1：発表後に審査員 5 名で優秀賞を決定しました（壇上右から、座長の長坂、Kelm 先生、審査員 Orser 先生、McIsaac 先生、Wijeysundera 先生）



写真2：Kosaka Clinical Award 受賞者 Peter Santer, MD, PhD 先生（右 JSCA 森松事務局長、左 JSCA・IARS 委員長坂）と。約 17 万人の大規模な後ろ向き研究により、人工呼吸器が肺に与えるエネルギーの総量を示す「メカニカルパワー」（ドライビングプレッシャー、一回換気量、呼吸回数の3要素で決まる）が高いほど（1J/min 上昇するごとに）、術後7日以内の再挿管リスクが**5%**、抜管後の酸素化低下リスクが**4%**、非侵襲的換気（マスク人工呼吸）の必要性が**7%**、それぞれ有意に増加し、特にドライビングプレッシャーのみ合併症のリスクと明確に関連していたことを報告されました。  
※2025年日本臨床麻酔学会では Santer 先生による来日招聘講演（IARS セッション）を予定しております。



写真3：右から Orser 先生、Wijeysondera 先生、JSCA 森松事務局長、McIsaac 先生、Kelm 先生、当時の IARS 理事長 Prakash 先生、JSCA・IARS 委員長長坂



以上